

日立造船株式会社

# 2015年度 決算説明会



Ras Abu Fontas A2海水淡水化プラント  
(造水量82,000t/d × 2基)

**Hitz**  
Hitachi Zosen

2016年5月12日

Hitz日立造船株式会社

取締役社長兼CEO 谷所敬

1. 2015年度連結決算概況
2. 2016年度業績見通し
3. セグメント別詳細
4. 中期経営計画「Hitz Vision II」の進捗状況

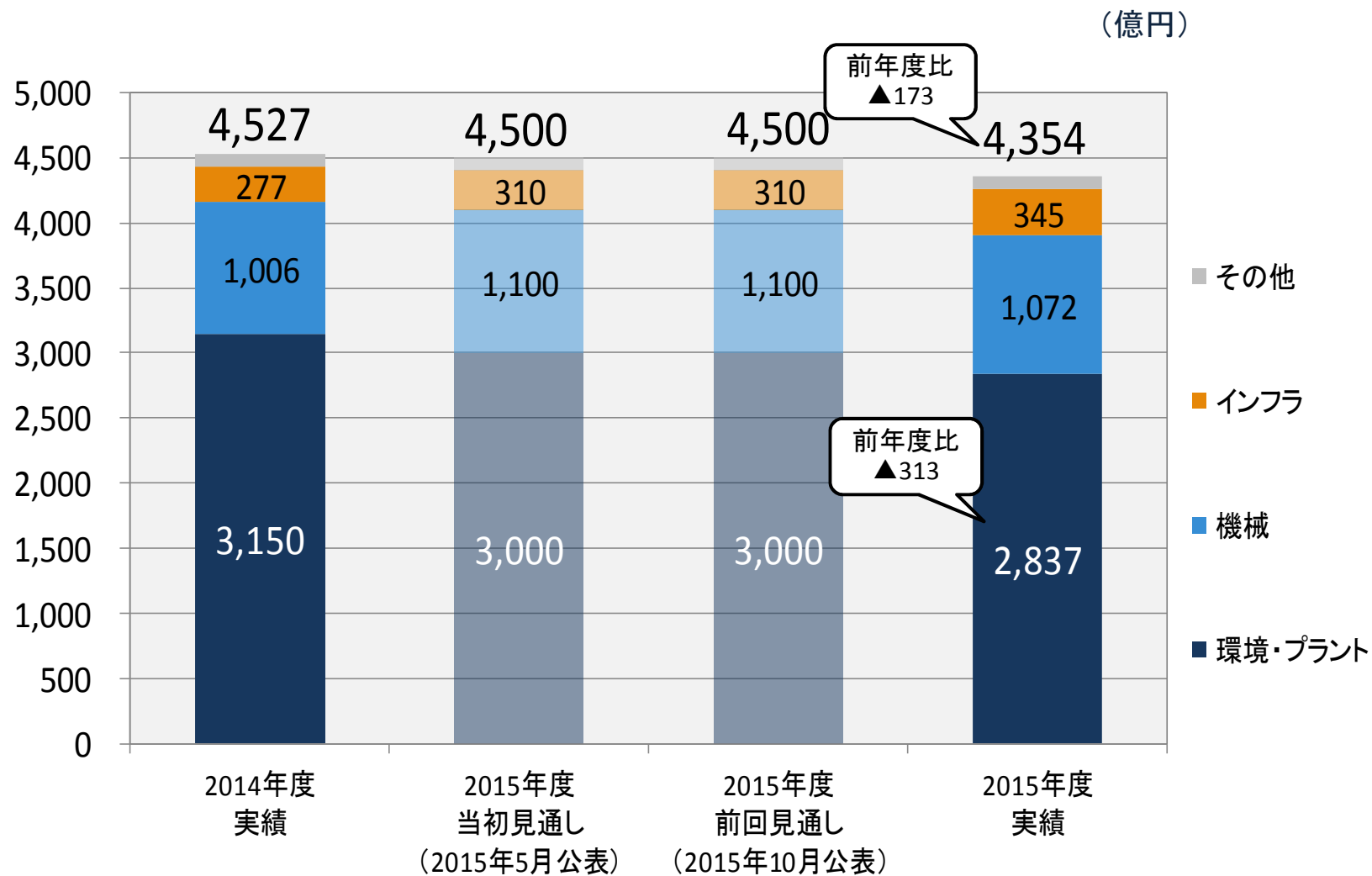
# 1. 2015年度連結決算概況

- 売上高と各利益項目がともに前年度実績を上回っていること
- インフラ部門の営業利益が改善し黒字に転換したこと

# 2015年度決算 実績サマリー

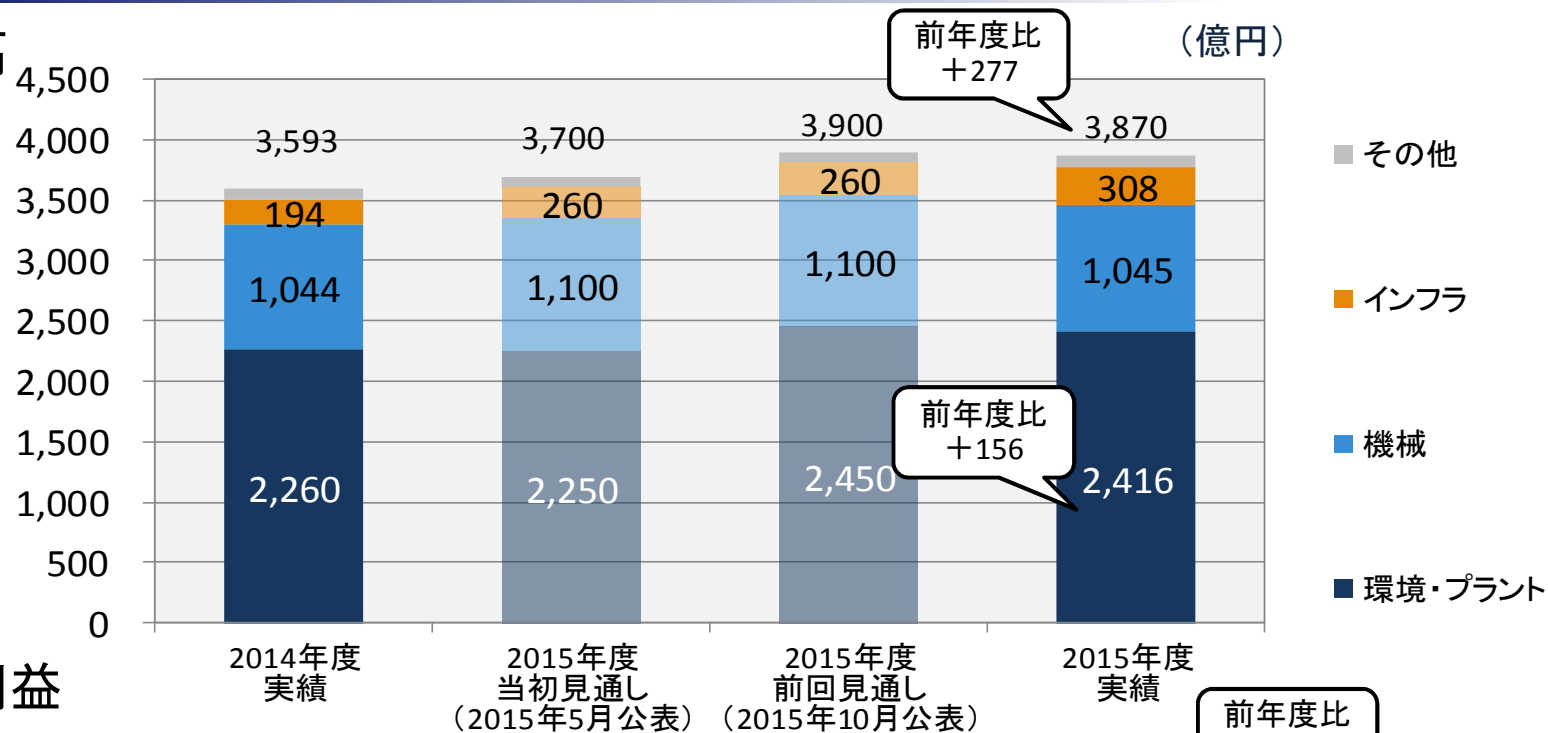
	2014年度	2015年度			比較	
		当初 見通し (2015年5月公表)	前回 見通し (2015年10月公表)	実績	対前年度	対10月 見通し
受注高	4,527	4,500	4,500	4,354	▲173	▲146
売上高	3,593	3,700	3,900	3,870	277	▲30
営業利益	128	135	145	151	23	6
(営業利益率)	3.6%	3.6%	3.7%	3.9%	0.3%	0.2%
営業外損益	▲53	▲35	▲35	▲29	24	6
経常利益	75	100	110	122	47	12
(経常利益率)	2.1%	2.7%	2.8%	3.2%	1.1%	0.4%
特別損益	18	—	—	▲32	▲50	▲32
税金費用・ 非支配株主帰属利益	▲42	▲45	▲55	▲32	10	23
親会社株主に帰属する 当期純利益	51	55	55	58	7	3
(純利益率)	1.4%	1.5%	1.4%	1.5%	0.1%	0.1%

# 2015年度決算 受注高

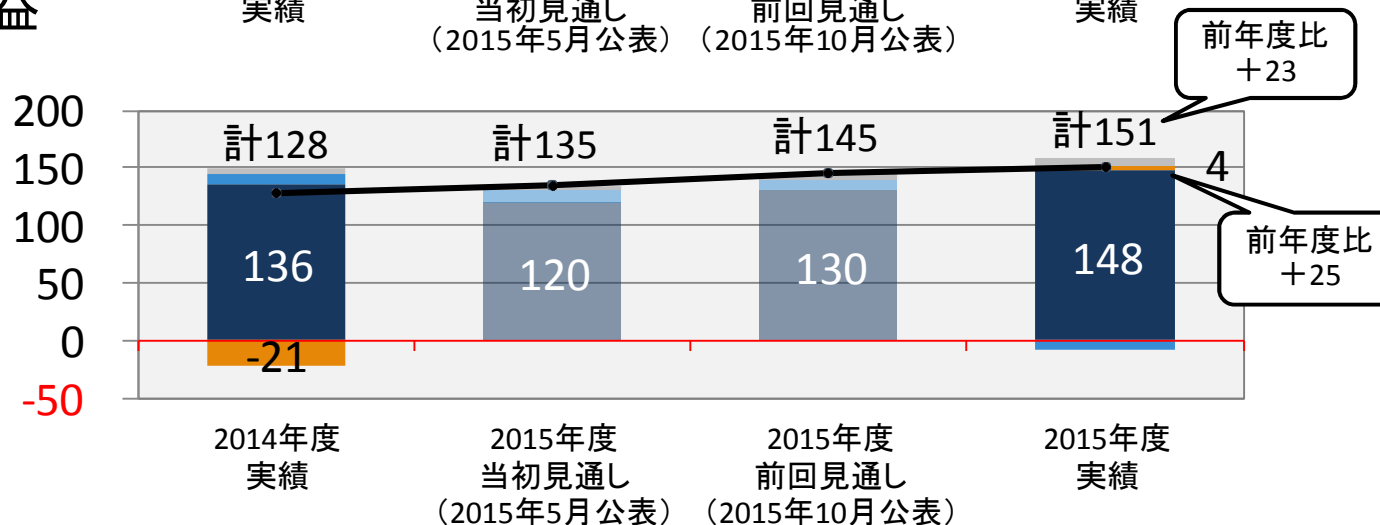


# 2015年度決算 売上高と営業利益

## ■売上高



## ■営業利益



# 2015年度決算 セグメント別

(億円)

		環 境 プ ラ ン ト	機 械	イ ン フ ラ	そ の 他	計
2015年度 実績	受 注 高	2,837	1,072	345	100	4,354
	売 上 高	2,416	1,045	308	101	3,870
	営 業 利 益	148	▲8	4	7	151
2014年度 実績	受 注 高	3,150	1,006	277	94	4,527
	売 上 高	2,260	1,044	194	95	3,593
	営 業 利 益	136	8	▲21	5	128
比較	受 注 高	▲313	66	68	6	▲173
	売 上 高	156	1	114	6	277
	営 業 利 益	12	▲16	25	2	23



# 2015年度決算 営業損益増減内訳

(億円)

2014年度 営業損益		128
増減内訳	・売上高増(+277億円)	44
	・一般管理費の増加	▲51
	・工事採算の改善	30
2015年度 営業損益		151

# 2015年度決算 営業外損益・特別損益内訳

(億円)

	2014年度	2015年度	比較
金利負担額※	▲7	▲6	1
持分法による投資利益	▲9	▲13	▲4
その他営業外損益	▲37	▲10	27
<b>営業外損益計</b>	<b>▲53</b>	<b>▲29</b>	<b>24</b>

(※) 受取利息・受取配当金から支払利息を引いたネットの金利負担額

特別利益	負ののれん発生益	31	—	▲31
特別損失	債務保証損失引当金繰入額および減損損失	▲13	▲32	▲19
<b>特別損益合計</b>		<b>18</b>	<b>▲32</b>	<b>▲50</b>

# 2015年度決算 キャッシュフロー・有利子負債

(億円)

項 目		2014年度	2015年度	比較
キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー	91	81	▲10
	投資活動によるキャッシュフロー	▲147	▲37	110
	財務活動によるキャッシュフロー	122	▲159	▲281
	現金・現金同等物の増減額	(注1) 108	(注1) ▲113	▲221
	現金・現金同等物の期首残高	499	607	108
	現金・現金同等物の期末残高	607	(注2) 496	▲111

(注1)為替換算差額含む (2014年度:+42、2015年度:+2)

(注2)新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高(+2)を含む

(億円)

項 目		2015年 3月末	2016年 3月末	比較
有利子負債	借 入 金	(注3) 990	(注3) 951	▲39
	社 債	200	100	▲100
	合 計	1,190	1,051	▲139

(注3)リース債務を含む。

## 2. 2016年度業績見通し

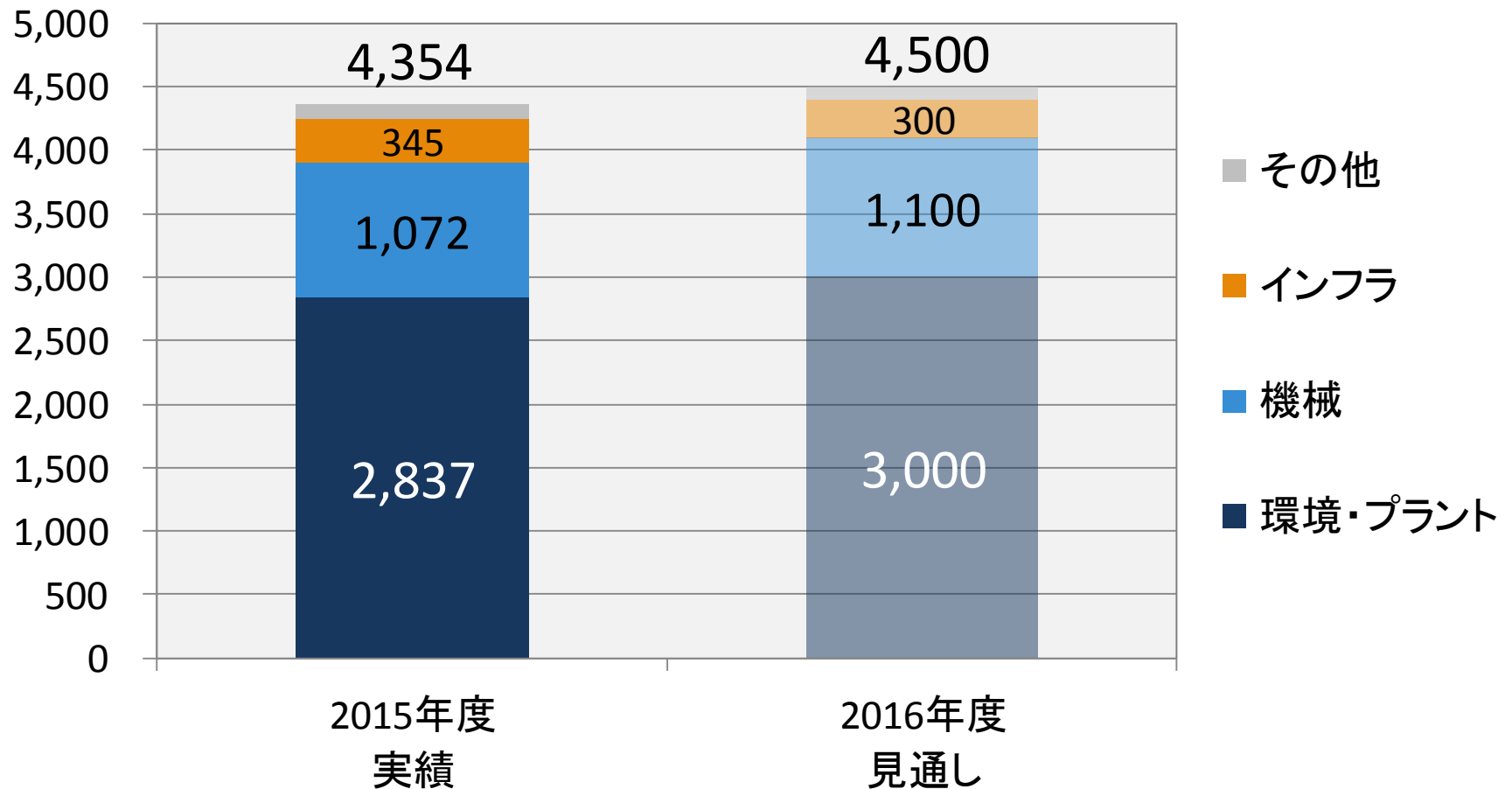
# 2016年度見通し サマリー

(億円)

	2015年度 実績	2016年度 見通し	比較
受注高	4,354	4,500	146
売上高	3,870	4,000	130
営業利益	151	160	9
(営業利益率)	3.9%	4.0%	0.1%
経常利益	122	120	▲2
(経常利益率)	3.2%	3.0%	▲0.2%
当期純利益	58	60	2
(当期純利益率)	1.5%	1.5%	0.0%

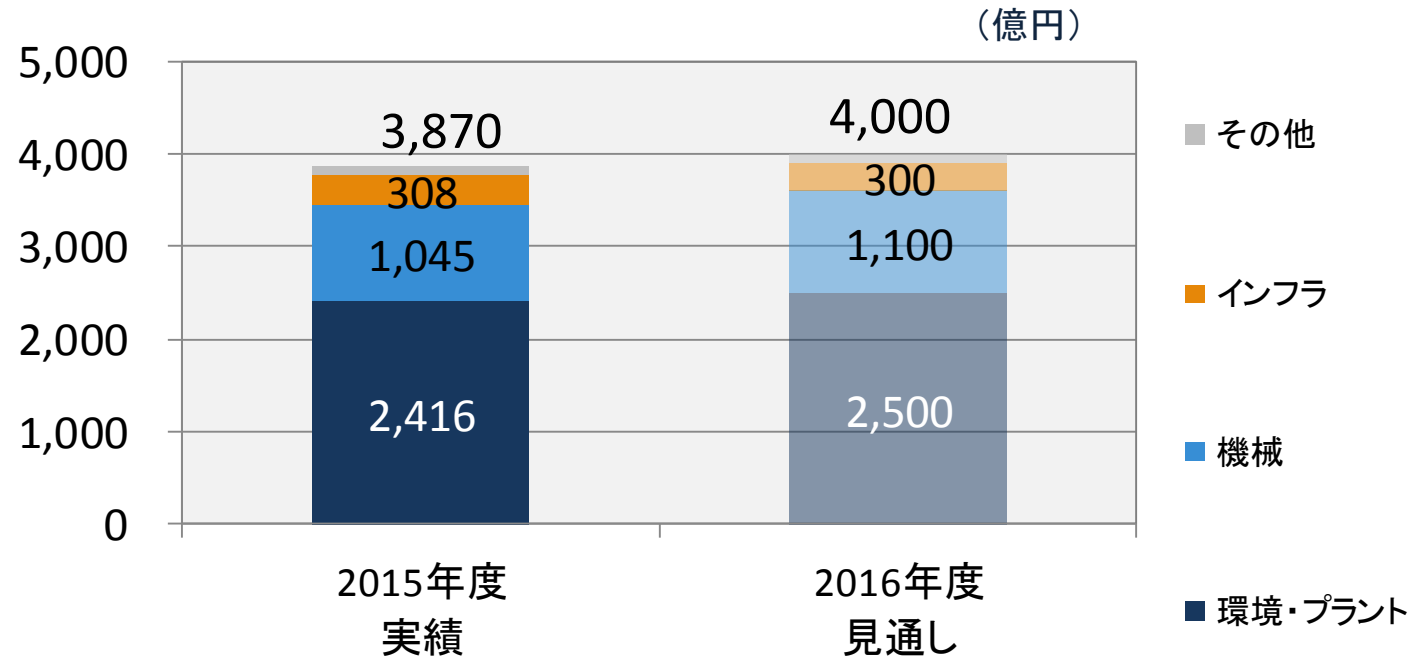
# 2016年度見通し 受注高

(億円)

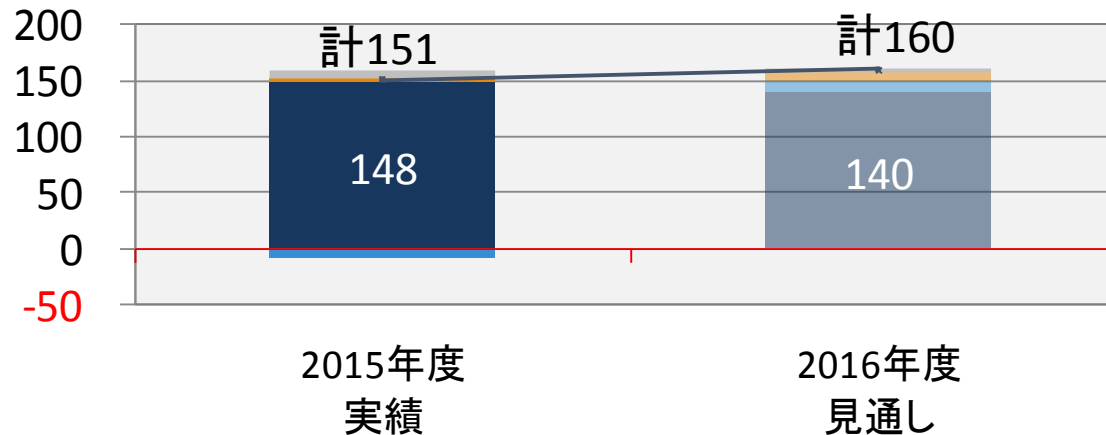


# 2016年度見通し 売上高と営業利益

## ■売上高



## ■営業利益



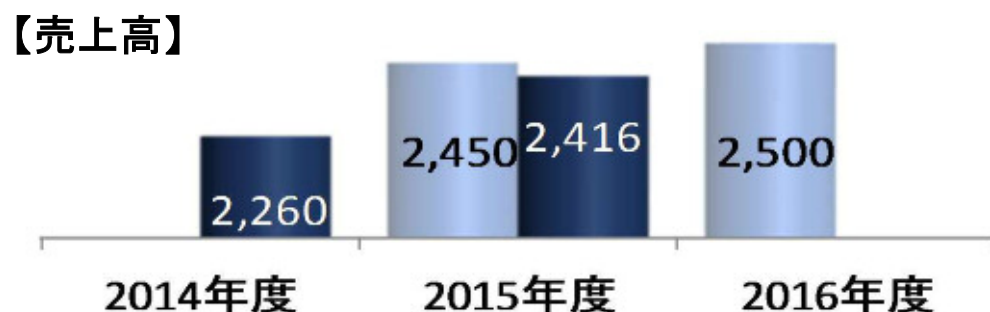
# 2016年度見通し セグメント別

(億円)

		環 境 プラ ント	機 械	イン フラ	そ の 他	計
2016年度 見通し	受 注 高	3,000	1,100	300	100	4,500
	売 上 高	2,500	1,100	300	100	4,000
	営 業 利 益	140	10	7	3	160
2015年度 実績	受 注 高	2,837	1,072	345	100	4,354
	売 上 高	2,416	1,045	308	101	3,870
	営 業 利 益	148	▲ 8	4	7	151
比較	受 注 高	163	28	▲45	0	146
	売 上 高	84	55	▲8	▲1	130
	営 業 利 益	▲8	18	3	▲4	9



## 3. セグメント別詳細



## 【受注高】

■ 2015年度実績(前年度比)

▲ 313億円減少の2,837億円

- ・大口海水淡水化プラント建設工事の受注
- ・国内の大口ごみ焼却施設建設工事・延命・改修工事の減少
- ・Inova社で大口工事の時期ずれ

■ 2016年度年間見通し(2015年度比)

163億円増加の3,000億円

- ・Inova社で大口工事の受注を見込む

## 【売上高/営業損益】

■ 2015年度実績(前年度比)

売上高: 156億円増加の2,416億円

営業損益: 12億円増加の148億円

- ・海水淡水化プラント建設工事の進捗
- ・高採算工事の完工による増益

■ 2016年度年間見通し(2015年度比)

売上高: 84億円増加の2,500億円

営業損益: ▲8億円減少の140億円

- ・海水淡水化プラント、ごみ焼却発電施設建設工事の進捗
- ・高採算工事の減少
- ・Inova社の売上高の減少

# 機械部門



## 【受注高】

### ■ 2015年度実績(前年度比)

66億円増加の1,072億円  
・船用原動機の増加

### ■ 2016年度年間見通し(2015年度比)

28億円増加の1,100億円  
・大口リアクター工事の増加  
・精密機械の増加

## 【売上高/営業損益】

### ■ 2015年度実績(前年度比)

売上高: 1億円増加の1,045億円  
・プロセス機器の減少  
・船用原動機の増加

営業損益: ▲16億円悪化の▲8億円

・精密機械の技術トラブル対応  
・海外子会社での損失計上

### ■ 2016年度年間見通し(2015年度比)

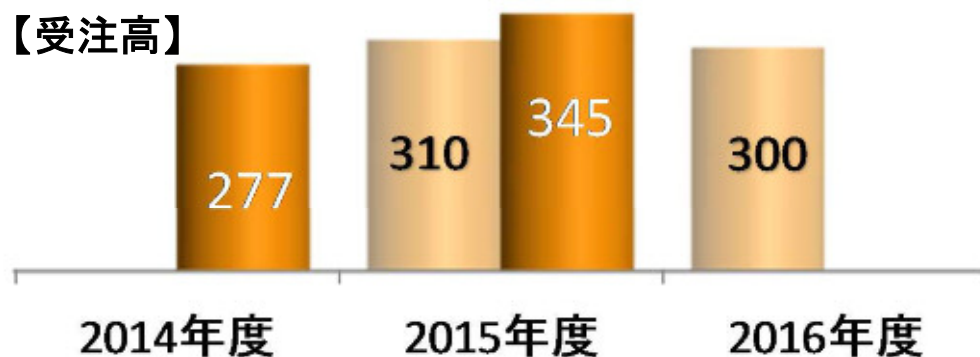
売上高: 55億円増加の1,100億円  
営業損益: 18億円改善の10億円

・原子力関連機器の売上高増加  
・船用原動機の採算改善  
・精密機械の技術トラブル解消

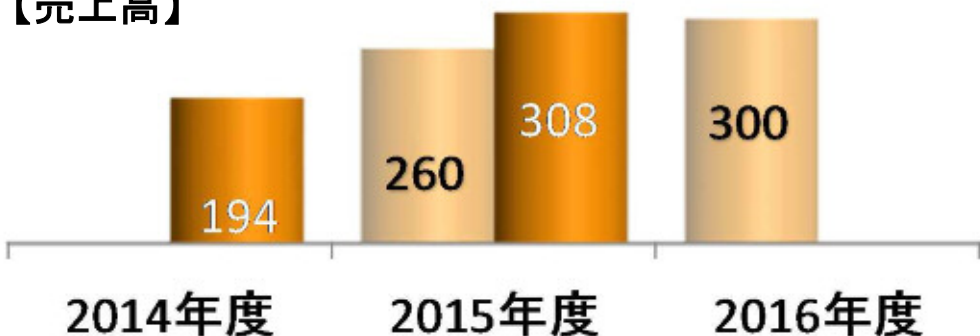
■ 見通し ■ 実績

(億円)

## 【受注高】



## 【売上高】



## 【営業損益】



### 【受注高】

■ 2015年度実績(前年度比)

68億円増加の345億円

・橋梁・煙突・海洋で大口工事受注

■ 2016年度年間見通し(2015年度比)

▲45億円減少の300億円

・海洋で大口工事の減少

### 【売上高/営業損益】

■ 2015年度実績(前年度比)

売上高: 114億円増加の308億円

営業損益: 25億円改善の4億円

・シールド掘進機および海洋での売上増加

・不採算工事の減少

・構造改革の進捗

■ 2016年度年間見通し(2015年度比)

売上高: ▲8億円減少の300億円

営業損益: 3億円増加の7億円

・橋梁・煙突での売上高減少

・黒字体質の定着

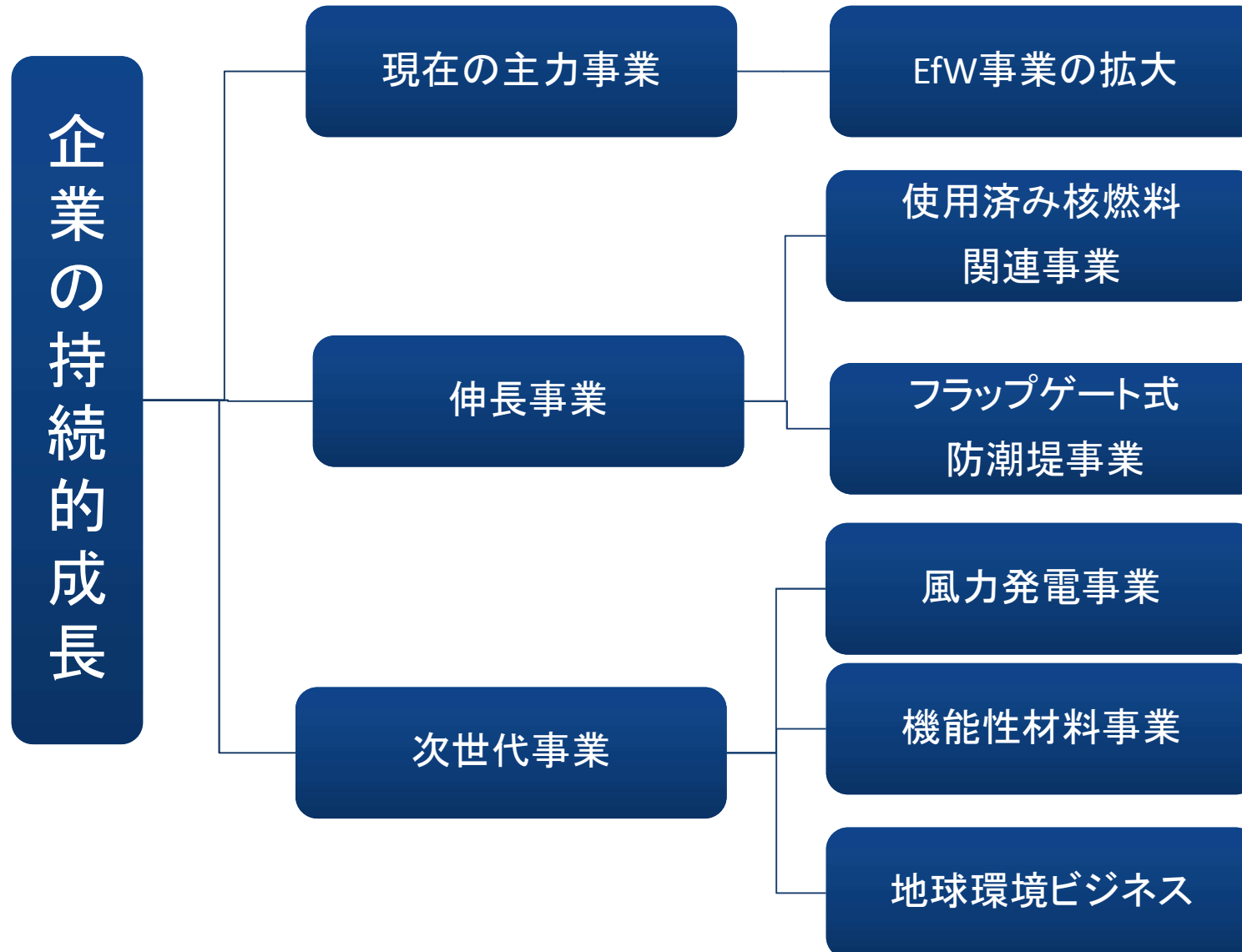
## 4. 中期経営計画「Hitz Vision II」 の進捗状況

# 中期経営計画「Hitz Vision II」重点施策

事業の イノベーション	◆技術立社と伸長分野	・伸長分野で技術立社の考え方に基づく事業戦略の実行	
	◆収益力の強化	・不振事業の事業転換を促す仕組みの構築 ・バランス経営の推進 ・ICT、ロボットの利用拡大	
	◆事業成長力の強化	海外現地事業の推進	・地域別統括機能の強化、地域別施策の推進 ・海外拠点の整備継続、ガバナンスの強化
		開発プロセス変革による新製品・新事業の収益化スピードアップ	・重点テーマをプロジェクト体制により早期製品化・事業化 ・事業性評価の強化 ・グローバルに戦える強い研究体制の構築
		グループ力の強化によるシナジーの実現	・Inova社、NAC社、Cumberland社とのシナジー拡大 ・更なるグループ全体の再編・統合による事業展開力と収益力の強化、人材活用
		M&Aの推進	・既存事業と技術のシナジー追及 ・海外現地事業のスピードアップ
経営管理の イノベーション	◆フラット・マトリクス経営体制推進	・ICT利用、グループ力、品質保証および環境・安全の強化	
	◆財務体質の強化	・成長戦略のための資金確保と財務体質の改善 ・外部格付け・株価向上のためのIR強化 ・グローバルベースの資金管理、効率的な資金運用	
	◆人材育成と風土改革	・若手人材の育成、技術・技能の伝承 ・多様な人材の採用と活用	

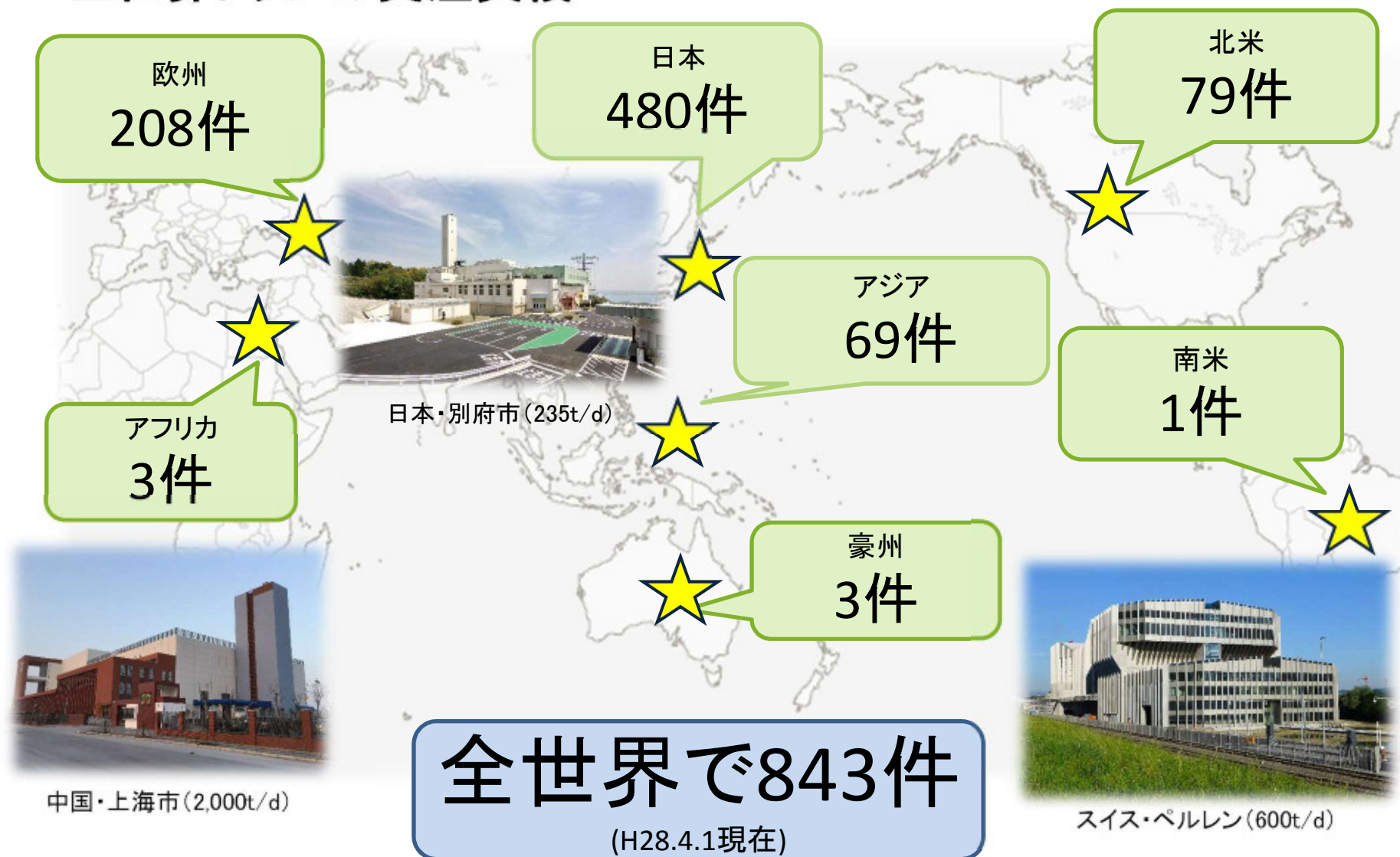
# 事業成長力の強化

EfW: Energy from Waste



# EfW事業の拡大(1)

## ■世界トップの受注実績





# EfW事業の拡大(2)

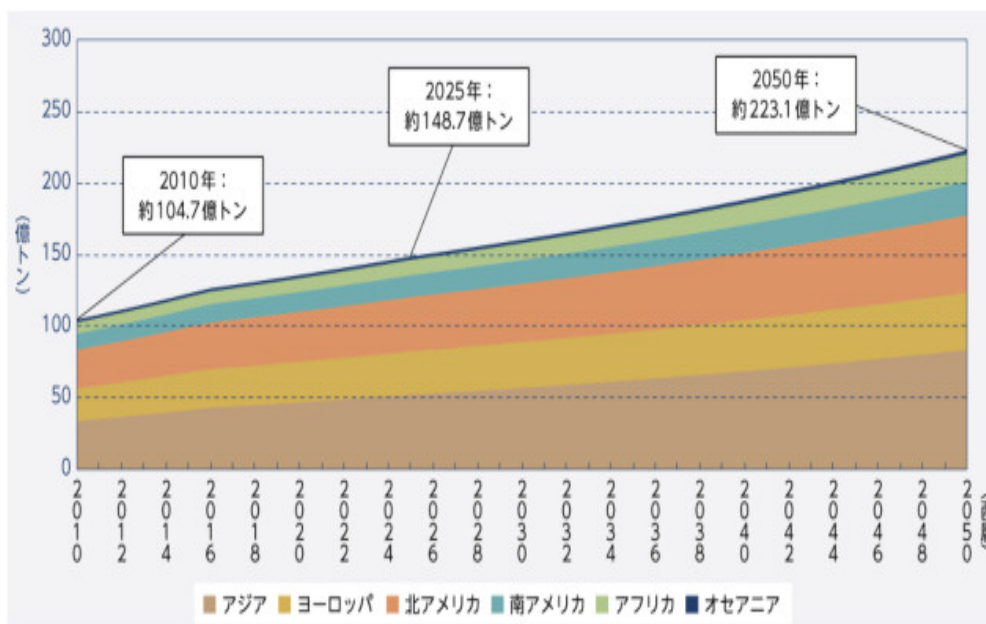
## ■今後の重点マーケット

### →東南アジアを中心とする新興国を新規開拓

- ・人口増加に伴う廃棄物発生量の増大
- ・電力不足による発電プラントとしての期待
- ・ごみ焼却発電のFIT制度適用



【世界の廃棄物量の推移】



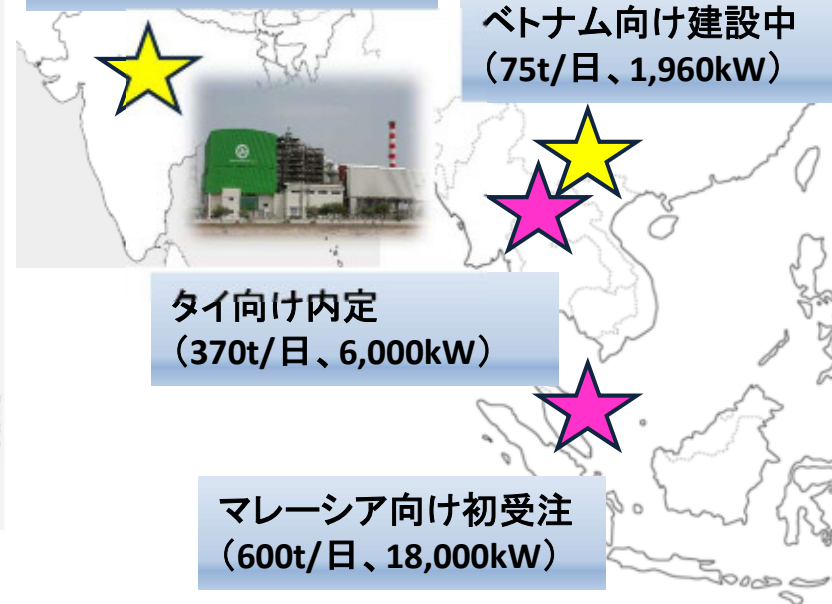
出典: 環境・循環型社会・生物多様性白書

インド向け建設中  
(600t/日、11,500kW)

ベトナム向け建設中  
(75t/日、1,960kW)

タイ向け内定  
(370t/日、6,000kW)

マレーシア向け初受注  
(600t/日、18,000kW)



## ■国内でのオペレーション技術を海外展開

### DBO案件に対応したオペレーション面での差別化技術

#### ①ビッグデータを活用した燃焼の安定化

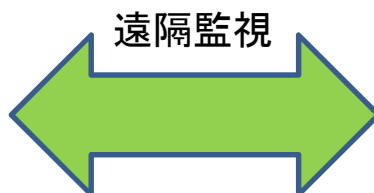
- ・10～30分先の燃焼状態を予測
- ・焼却炉全体の長寿命化
- ・安定した効率的な発電

#### ②遠隔操炉の取り組み

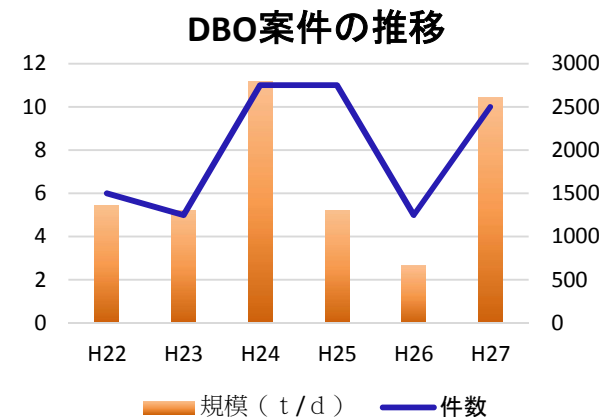
- ・運転支援スタッフがプラントを24時間体制で遠隔操作
- ・1カ月間の効率的な運転を達成

→オペレーション技術を海外へ

マレーシア向け初受注  
(600t/日、18,000kW)

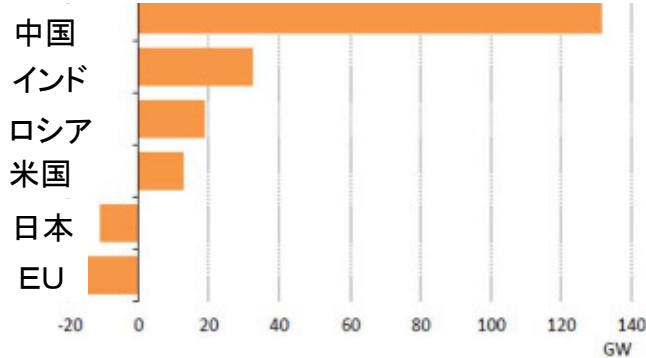


遠隔監視・運転支援センター  
(日立造船南港ビル2F)



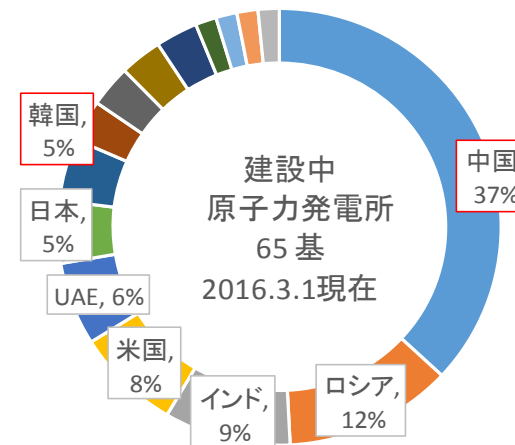
## ■ 使用済み核燃料の発生量→中国の増加が著しい

主要国・地域の原子力発電設備容量の変化  
(新政策シナリオ)  
2013～40年の正味増加量



単位: GW=100万kW

(出所)IEA,World Energy Outlook 2014.  
「最近の原子力国際動向」日本原子力産業協会 国際部 2015年8月



(出所): WNA "World Nuclear Power Reactors & Uranium Requirements"

### 【米国】

- ・ 運転中99基、建設中:5基
- ・ 世界第1位の原子力発電保有国
- ・ 最終処分場の建設遅れで、中間貯蔵向けキャスクの需要増
- ・ 原発廃止措置について先進国

### 【中国】

- ・ 運転中31基、建設中:24基
- ・ 原子力発電を積極推進
- ・ 使用済み核燃料の累積発生見込約9,000t(2020年まで)
- ・ 輸送用キャスクの需要増

### 【韓国】

- ・ 運転中25基、建設中3基
- ・ 使用済み核燃料の累積発生見込約19,000t(2020年まで)
- ・ 最終処分の方針未定  
⇒湿式貯蔵の容量が逼迫  
⇒貯蔵能力の拡大が急務

# 使用済み核燃料関連事業(2)

## ■ 地域の特性に合わせた戦略的なアプローチ

### <東欧>

- ・旧ソ連型の原子炉を採用している国々で使用済み核燃料の貯蔵用キャスクのニーズが高まる
- ・旧ソ連型原子炉の燃料に対応するための設計改良は必要

### <韓国>

- ・斗山重工業と韓国市場/プロジェクト向け乾式貯蔵システムに関する技術提携契約締結

### <中国>

- ・使用済み核燃料輸送用キャスク受注  
⇒使用済み核燃料輸送の需要を継続的に取り込む

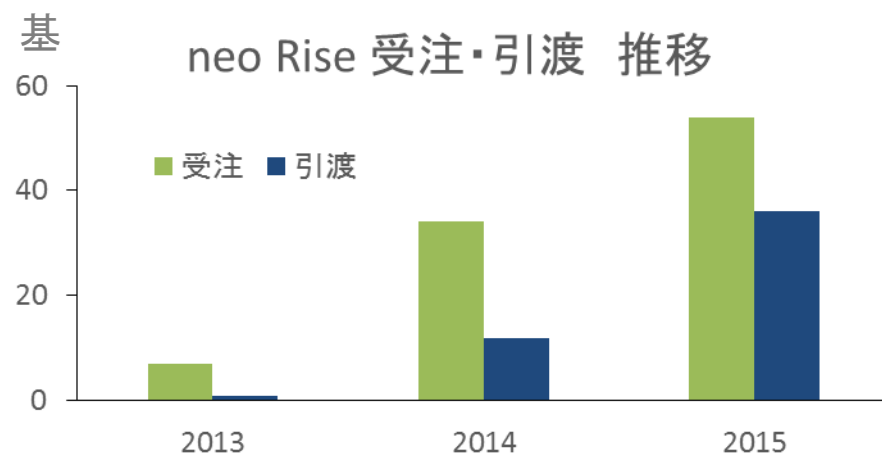
### <米国>

- ・高レベル放射性廃棄物の屋外乾式貯蔵に成功(米国初)
- ・原発廃止措置市場でのプレゼンス向上へ



# フラップゲート式可動防潮堤事業

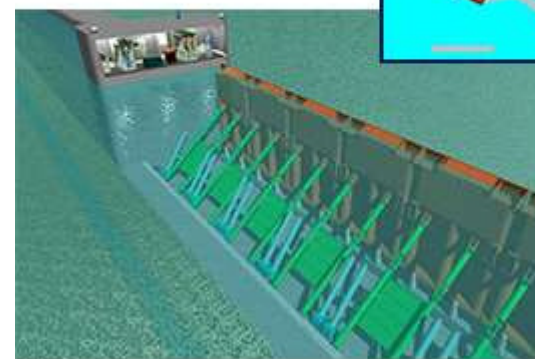
## ■「フラップゲート」事業化 進捗状況 →確実に受注を積み重ね 市場を拡大中



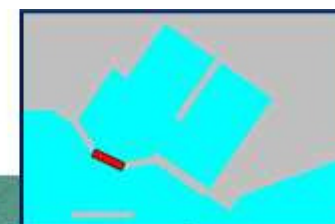
陸上設置型フラップゲート式可動防潮堤  
neo RiSe® 徳島県(豊益地区)

## ■海底設置型フラップゲート式防波堤

- ・2年間の実海域での実証試験完了  
信頼性を確認済
- ・国事業での採用へ地道に情報提供



設置図



設置場所

# 次世代事業

早期に新事業・新製品を  
弊社の収益の柱へ



事業本部・技術開発本部で取り組んでいた  
製品を**社長直轄**の組織とし、事業化を加速

## 風力発電事業推進室



陸上風力発電事業



洋上風力発電事業

## 機能性材料事業推進室



全固体リチウムイオン電池



トチュウエラストマー



カーボンナノチューブ

## 地球環境ビジネス開発推進室



水素発生装置

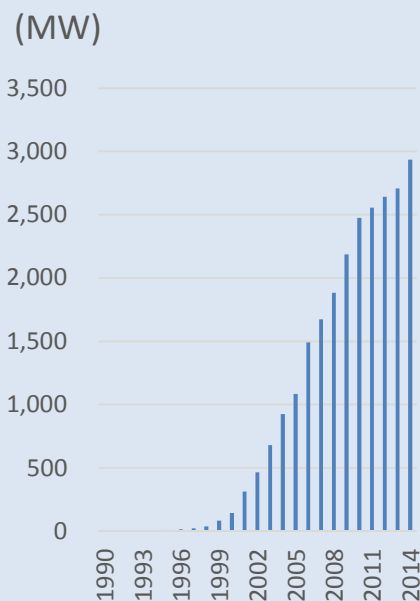


メタネーション装置

## 環境にやさしいグリーンエネルギーの推進

### 風力発電の取り組み状況

#### ■ 日本の風力発電 導入量の推移



今後も導入量は増える傾向にあり、事業拡大が見込まれています。

#### ■ 陸上風力発電



秋田県秋田市において2000kW級×2基の風力発電事業を実施。今後も複数の風力発電事業を計画中

■ 事業化済み

#### ■ 洋上風力発電



イメージ

新潟県村上市にて、弊社を代表企業とする10社のコンソーシアムにて、洋上風力発電の事業化に向けて検討中

■ 2024年度の運転開始を目指す。

## 弊社の技術を活かした新素材・新材料の開発

### トチュウエラストマー

- 独自開発の機能性に富んだ  
バイオエラストマー



#### 【用途】

- ・3Dプリンター用樹脂
- ・スポーツ用品
- ・複合材料

- 2016年度に事業化を目指す。

### カーボンナノチューブ

- 高品質の長尺・垂直配向性カーボン  
ナノチューブ



#### 【用途】

- ・放熱部材
- ・導電性部材
- ・特殊センサー部材
- ・構造部材

- 2017年度に事業化を目指す。

### 全固体リチウムイオン二次電池

- 広い温度範囲で使用できる高性能、  
長寿命のリチウムイオン電池



#### 【用途】

- ・電気自動車
- ・滅菌加熱が必要な医療機器の電源
- ・宇宙などの極限環境下での機器

#### 【現状】

- ・一部企業にサンプル出荷を開始
- ・2017年度に本格的にサンプル出荷

- 2020年度に事業化を目指す。



弊社の技術力を結集し、地球環境にやさしいビジネスの構築

再生可能エネルギー、メタネーション技術を活かし、CO<sub>2</sub>排出量削減

再生可能エネルギー



余剰電力

水素発生装置



水素

メタネーション装置



水素とCO<sub>2</sub>から  
メタンを製造

CO<sub>2</sub>分離ゼオライト



CO<sub>2</sub>

電力



消費者



発電所

メタン

世界中にメタン(天然ガス)  
インフラが整備

## ■ バランス経営の推進状況

(億円)

	2010年度		2014年度		2015年度	
国内事業	2,375	83%	2,371	66%	2,581	67%
海外事業	496	17%	1,222	34%	1,289	33%
合計	2,871	100%	3,593	100%	3,870	100%
内 新製品・新事業	—	—	32	1%	115	3%
内 継続的な事業 (アフターサービス等)	1,155	40%	1,361	38%	1,485	38%

## Hitz Vison II 計画値

【海外事業】

17%→30%(2016年度)

【継続的な事業】

40%→50%(2016年度)

【新製品・新事業】

500億円(2016年度)

# Hitz Vision II 計数計画

(億円)

	2014年度			2015年度			2016年度	
	Hitz-V II 計画	実績	達成度	Hitz-V II 計画	実績	達成度	Hitz-V II 計画	見通し
受注高	4,000	4,527	113.2%	4,500	4,354	96.8%	5,000	4,500
売上高	3,200	3,593	112.3%	3,500	3,870	110.6%	4,000	4,000
営業利益 (営業利益率)	100 (3.1%)	128 (3.6%)	128.0%	170 (4.9%)	151 (3.9%)	88.8%	230 (5.8%)	160 (4.0%)
経常利益 (経常利益率)	80 (2.5%)	75 (2.1%)	93.8%	140 (4.0%)	123 (3.2%)	87.8%	200 (5.0%)	120 (3.0%)
当期純利益	40	51	127.5%	80	58	72.5%	130	60
有利子負債 残高	1,311	1,190	—	1,260	1,051	—	1,200	1,200
自己資本 比率	27.6%	26.6%	—	28.6%	28.4%	—	30.6%	30.6%

# Hitz

## Hitachi Zosen

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。